

令和元年度
「岐阜大学COC事業 地域志向学プロジェクト」公募要領

令和元年9月24日
岐阜大学地域協学センター



1. 公募の趣旨・目的

岐阜大学は「学び、究め、貢献する」地域にとけこむ大学であることを宣言し「地域志向を重視した教育、研究を実践」することを社会貢献の目標のひとつに挙げています。

地域が直面する課題はますます複雑・広範化しており、単一の領域科学では解決のできない課題が多く生起しています。地域協学センターでは、複数の学問分野の学際的な協働、横断的・融合的な連携の強化、自治体・NPO・地域団体・民間事業者等との「協学」を進め、地域の課題解決を図り、地域社会の活性化に貢献する統合的な研究・教育活動を、「地域志向学プロジェクト」として支援します。

2. 事業の対象課題

基礎研究、応用研究、教員の専門性を活かした実践活動の側面が強い研究などを含めて、地域の課題解決につながる研究プロジェクト、および地域を知り、地域の課題を発見し、地域の課題解決に向けて行動できる人材の育成につながる教育プロジェクトを、これらの研究や教育として展開するための萌芽的な取り組みも含めて幅広く募集します。

以下は研究等の分野の一例ですが、これにとらわれずに多様な視点からの取り組みを期待します。

(例) 過疎、少子高齢社会、環境保全、生涯学習、リカレント教育、子供・子育て支援、義務教育学校、高大連携、地域リーダー育成・育成指導者養成プログラムの開発、地域学校協働活動、大学の地域拠点形成、持続可能な開発目標、多文化共生、移住・定住、まちづくり、住民参加、防災・減災、地域医療、包括ケア、文化芸術、風土保全、自然との共生、生物多様性保全、地場産業振興、特産品開発、企業の社会的責任、ダイバーシティマネジメント、民間資金等の活用、U(J,I)ターン就職、インターンシップ、地域活動、ボランティア、空き家活用、観光、農村滞在、グリーンツーリズム等。

3. 公募内容

今年度に公募する地域志向学プロジェクトは次のとおりです。

(1) 地域志向学研究プロジェクト(フューチャーセンター活用型)

フューチャーセンター(Future Center)は、2.に例示したような単独の主体だけでは解決が難しい課題について、多様な主体が集まって様々な観点から未来志向のアイデアを出し合う場のことです。岐阜大学COC事業の柱のひとつであり、その様子は地域協学センターホームページにも掲載しています。本研究事業はフューチャーセンターの手法を研究の中で活用していただくものです。具体的には、前年度までに行われたフューチャーセンターの成果をふまえた研究、フューチャーセンターを用いて地域の課題解決に向けた準備等を行う研究、フューチャーセンターの実施によってより優れた成果が期待できる研究、フューチャーセンターを通じて成果を地域に還元する研究などです。

参考URL(フューチャーセンター): <http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/ccsc/index/futurecenter>

(2) 地域志向教育プロジェクト

この事業は「次世代地域リーダー育成プログラム」の登録科目においてその内容を充実させる取り組み、または未登録科目において地域志向型の学習を導入・充実させ、「次世代地域リーダー育成プログラム」への登録を目指す取り組みとして実施します。

参考URL(次世代地域リーダー育成プログラム):<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/ccsc/index/education>

4. 応募要件等

(1) 地域志向学研究プロジェクト(フューチャーセンター活用型)

- ・岐阜県および愛知県を中心とする近隣圏域の自治体、企業、団体や地域住民等(以下、共同事業者)と本学の教員(グループまたは個人)が密接に連携して取り組む研究とします。
- ・研究計画は教員と共同事業者との連携に加えて、学生の教育(卒業研究等を含む)または学生による地域貢献活動と密接に関連するものとしてください。
- ・可能な限り、複数分野の研究者で構成された分野横断的な研究グループを形成して応募してください。本学の教員の他に国立大学法人名古屋大学の教員を研究分担者に含めることもできます。
- ・岐阜大学と包括連携協定を締結した市町村を対象地域とする研究を積極的に行うことを期待します。

参考URL(連携自治体):<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/assets/document/011/002.pdf>

- ・単年度事業ですが、前年度の取り組みを継続する申請もできます。
- ・事業経費は40万円を上限とし、これを超えない範囲で事業内容に照らして適切な金額を設定してください。

(2) 地域志向教育プロジェクト

- ・「次世代地域リーダー育成プログラム」未登録科目においては、原則として次年度に登録を申請していただきます。
- ・新たに地域志向教育に取り組む教員の積極的な応募を期待します。
- ・単年度事業ですが、前年度の取り組みを継続する申請もできます。
- ・事業経費は20万円を上限とし、これを超えない範囲で事業内容に照らして適切な金額を設定してください。

5. 事業期間

採択決定の日から令和2年10月31日まで。ただし経費は令和2年度に繰り越しできません。

6. 採択予定件数

予算の範囲内で採択します。

7. 応募資格

- ・事業代表者は本学の専任教員とします。経費は事業代表者に配分します。

8. 経費の範囲

申請できる経費は、事業計画の遂行に必要な以下の経費とします。

- ・国内旅費，消耗品費，謝金，その他の経費（外注費，印刷製本費，バス等借り上げ代など）。
- ・備品の購入・修理に経費を使用することはできません。

9. 応募書類および提出期限等

別紙（様式1）のファイルをpdf形式で令和元年10月11日（金）までに12. の提出先へ送付してください。

10. 審査方法・評価基準

- ・地域協学センター長が指名する委員で構成する審査委員会を地域協学センターの研究プロジェクト部門内に設置して審査し，地域協学センター運営委員会において採択を決定します。
- ・審査は，提出された応募書類による書面審査とします。
- ・審査では，主に次の点を評価します。
 - ① 岐阜大学の「社会貢献基本戦略」「地域戦略ビジョン」「中期目標・中期計画」に適合し，さらに教育プロジェクトにおいては岐阜大学の「ディプロマポリシー」にも適合し，大学が地域活性化の中核拠点として地域の期待に応えることに貢献できる事業であるか
 - ② 事業計画は着眼点に優れ，独創的で魅力あるものか
 - ③ 事業の目標・目的，期待される成果が明確に示されているか
 - ④ 事業計画は十分に練られ，事業期間内に実施可能か
 - ⑤ 継続事業の場合は前年度に良好な成果が得られ，それをさらに発展させるものとなっているか
 - ⑥ 事業経費の積算は事業内容に照らして適切か
（以上，研究・教育プロジェクト共通）
 - ⑦ 事業はフューチャーセンターを有効に活用したものであるか
 - ⑧ 研究組織は分野横断的で，共同事業者との連携・協力体制が明確か
 - ⑨ 研究計画は学生教育や学生の地域貢献活動と関連づけられているか
（以上，研究プロジェクト）
 - ⑩ 教育効果が高く，次世代地域リーダー育成プログラムの充実につながるものであるか
（以上，教育プロジェクト）

11. 事業成果の公表・報告

- ・成果報告書を令和3年1月29日（金）までに地域協学センター長あてに提出してください。様式は採択者あてに送付します。
- ・成果報告書は地域協学センターのホームページ，地域協学センターが発行する冊子等に掲載します。
- ・地域協学センターが開催する成果報告会，シンポジウム，会議などにおいて研究成果の発表をお願いします。
- ・地域志向学研究プロジェクト（フューチャーセンター活用型）においては上記の成果報告会以外に，あらかじめ共同事業者と調整し，共同事業者の構成員や地域住民等に向けた成果発表会等を行うように努めてください。

12. 応募書類提出・問い合わせ先

研究推進部 社会連携課 地域連携支援室 長谷川

メールアドレス gjai03011@jim.gifu-u.ac.jp

内線 2141

13. フューチャーセンター実施支援

地域協学センターではフューチャーセンター部門において、多様な人びとが集い議論する『場』である「ぎふフューチャーセンター」の形成普及に取り組んでいますので、研究の中でフューチャーセンターを活用する際にはお気軽にご相談ください。

フューチャーセンター部門 問い合わせ先:

フューチャーセンター部門長(地域協学センター准教授)大宮康一(k_omiya@gifu-u.ac.jp)